



ヨーヨー釣り
100歳の挑戦！

歩く楽しみ

施設長 小川内秀樹

特養の廊下を、九十九歳の入居者の方が、歩行器を使って歩いておられました。作業療法士が付き添い、笑顔で過ごされていました。

特に感染症予防策が行われるようになってからは、外出の機会を留める必要があり、外に出かけていくことが大幅に減ってしまっていました。余計に、その姿は明るく、楽しげに目に映りました。普通に歩いている様子は、当たり前の事ではなく、超高齢の方にとって、安全を確保した上で、行っていると思いますが、一日の中のほんの短い時間ですが、その方にとっては、恐らく、身体だけでなく、気分も良くなった一日となったことでしょう。

七月から対面会を再開したばかりでしたが、最近の急激な感染者増大により、八月が始まった数日で、一旦、休止せざるを得なくなりました。（密接の面会は続けています。）施設内でできる行事の楽しみは、これから夏祭りなどを計画していますが、普段の生活の中で体験できる楽しみも身近な所にあると思います。歩行器だけでなく、平行棒につかまりながら立ち上がる、歩く時の笑顔の写真が見やすいように、廊下に展示されています。

七月のボランティア

※協力牧師の方々

日曜礼拝を再開しました。
いつも導き働きの御礼を申し上げます。

夏祭り

虹の架け橋ヘルパー

秋谷 陽子

八月十日に特養とショートステイの利用者の皆様で、夏祭りを開催しました。新型コロナウイルスの影響で、大きなイベントが開催できない中で、「何か利用者に楽しみの」という思いで、昨年に引き続きの開催です。

祭りはやしの音楽の中、ヘルパー室内ではアイスクリームの提供。味も何種類もあり、チョコ味を召し上がる、K様は「たまに食べると美味しいな。」と笑顔。虹の架け橋のリビングでは、的当てを開催。参加者に漏れなく、せんべい、ゼリー、ぶ菓子の入った景品のプレゼント。憩いの汀リビングでは、ヨーヨー釣り大会。担当職員が予め、欲しいヨーヨーを聞いて、釣りのお手伝いの大サービス。釣り上げた瞬間に、皆様、ニッコリ。短い時間でしたが、利用者のたくさん笑顔を見る事ができて、楽しい時間となりました。



的当て・ヨーヨー釣りに挑戦！！

夏祭りの風景



ヨーヨー持って
二刀流！



しっかり狙ってね～



釣れた！釣れた！



大好評のアイスクリーム

相談員日誌

「夏の思い出」

「夏が来れば、思い出ははるかな尾瀬、遠い空霧のなかに、うかぶくろやさしい影、野の小ひま水芭蕉の花が、咲いている夢見て咲いている水のほとり、しやくなる色に、たそがれる、はるかな尾瀬、遠い空」夏になると、この歌が頭に浮かぶ。

物心つく頃から、高校生になるまでの間、ほぼ毎年、夏になると、尾瀬のバイブルキャンプに参加した。

そこでは、同世代のクリスチャンと、悩みを語り合い、牧師先生からのメッセージや、助言をいただき、自分の人生観に多くの影響を与えるイベントであった。



(NO397)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

主に感謝せよ。
主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。

詩編136編1節



ホームページ

移動販売

特養ヘルパー主任 野田 望

七月末より、毎週木曜日に、移動販売車が、施設敷地内に来るようになりました。ご利用者を連れて向かってみると、会場の、ぶどうの木周辺には、他の施設の方々も来られて賑わっていました。

お刺身、総菜、パンやお菓子等々、ご利用者の皆さんも、真剣に選んでいました。お目当ての物が見つからない場合は、店員さんに聞くと、明るく元気に教えてくれます。メロンパンを購入した方は、早速、美味しそうに、頬張っていました。コロナ禍になって久しく、外出や買い物も制限されている中で、とても、ありがたいサービスです。今後も、感染対策を行いながら、ご利用者の楽しみの一つとして、活用できれば幸いです。

山崎静子様の紹介

山崎 潤子様(長男奥様)



山崎静子は私の義理の母です。お陰様で今年の二月十六日に、百歳になりました。施設の皆様に感謝をしています。出合った頃の義母は、いつもシャキッとしていて、容姿も身支度も美しく、聡明で尊敬をしていました。そして母一人、子一人の素敵な親子でした。

私はその息子と結婚をして四十二年が過ぎた二年前に、その一人息子は、先に天国へいってしまいました。ちよつと順番が違いましたが、義母には孫二人と、曾孫三人がおります。私も、先月乳ガンの手術をしました。でも、神様に守られています。これからも、施設の方々や子供たち、孫たちと共に静子母の最期まで頑張つて、見守つていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。



果物も充実してます



利用前にしっかり消毒



買いすぎちゃった



久々にパンを買いました

八月の誕生会

堀越絹代様

七十九歳

お誕生日おめでとうございます。



笑顔に支えられて

理事兼兼総合施設長 宇都宮和子
8月に入り、厳しい暑さと想像を超えるコロナ感染者の倍増に驚くばかりです。テレビに映し出される病院の実態を見ると、現場の厳しさが伝わってきます。このまま行くとご利用者さんが病気になるのも安心して病院に入院できなくなるのではと心配です。今一度、マスク、手洗い、消毒の徹底を測り、職員はご利用者さんのケアに対応していきます。

2年前までは、8月になるとご利用者さんのベットの所にアロハシャツが準備され、サマーフェスティバルを待つ日々でした。暫くは障がい者のご利用者さんとの合同行事は出来ませんが、スタッフは小グループで出来る楽しみに取り組んでいます。

昨日、ご利用者さんの部屋を尋ねるとKさんが笑顔で手招き合図、傍に行くと嬉しいような笑顔で、スタッフと一緒に買い物に行つて来た事を話してくれる。7月からキングス・ガーデンの校の木の下のカスミの移動スーパースタッフと一緒に買い物。美味しものが一杯詰まっている移動スーパースタッフに驚いたという。楽しそうに話すKさんの笑顔にいつも笑顔を頂きます。「あなたは今、微笑んでいますか」Kさんの笑顔を見るといつもこの言葉を思い出します。